

セルフスタンドでの事故に

# 気をつけよう



給油時、周囲に子供を近づかせない！

## 事故事例

給油後ノズルを計量機に戻すとき、誤って給油レバーを握ってノズルからのガソリンが噴出し、すぐ近くにいた子供の衣服にかかりました。

握りは正しく！



給油ノズルを計量機に戻すときは、給油レバーをさわらない！



注ぎ足し給油はしない！

☆ 裏面もご覧ください。

セルフスタンドには各種安全装置が設けられ、従業員（監視員）による安全確認も行われていますが、より安全に給油していただくための注意点をまとめてみました。

## 1 給油する際の主な注意点

- ① 車の窓やドアを閉めるとともに、エンジンをかけたまま給油しない。
- ② 給油前には必ず「静電気除去シート」などに触れ、体にたまっている静電気を除去してから、給油キャップを開ける。
- ③ 給油中にライターやタバコなどの火気を使用しない。
- ④ 給油中にその場を離れない。また、子供が近づかないように注意する。
- ⑤ 給油中は給油に集中するため、携帯電話は使用しない。
- ⑥ 給油ノズルを給油口の奥まで差し込み、自動に給油が止まったら、それ以上給油はしない。  
また、給油口の浅いスクーターなど奥まで給油ノズルが入らない車種は、あふれたりしないように少しずつゆっくり給油する。
- ⑦ 給油後、給油ノズルを計量機に戻すときは、給油レバーを握らない。
- ⑧ その他、セルフスタンド内に掲示されている注意事項を守る。



## 2 主な事故事例

- ① ガソリンを給油後、給油ノズルをノズルハンガーに上手く収納できず、誤ってレバーを握ってしまいノズルからガソリンが噴出、レバーを離し噴出は止まったが、跳ね返ったガソリンが自身の顔面にかかった。

### ポイント

- ・ 給油時は周囲に子供が近づかせない。また、子供に給油させない。
- ・ 給油後、給油ノズルを計量機に戻すときは、給油レバーを握らない。  
(給油口に給油ノズルが差し込まれていない状態でレバーを握ると、油が噴出して危険です。  
特にノズルを計量機に戻す際には十分注意してください。)

- ② ガソリンを給油するため給油口を開放したところ、静電気により可燃性蒸気に引火し給油口から炎が噴出した。

### ポイント

- ・ 給油前には必ず「静電気除去シート」などに触れ、体にたまっている静電気を除去してから、給油キャップを開ける。
- ・ 給油口から炎が出た場合は、給油ノズルをそのままにして従業員を呼ぶ。  
(給油ノズルを引き抜くと、こぼれたガソリンに引火し拡大する危険があるため。)

セルフスタンドを利用する方は、注意事項を参考に安全で適切な給油をお願いします。



「消太くん」

### 【問い合わせ先】

新潟市消防局 危険物保安課 危険物係 025-288-3240

北消防署 025-387-0119

東消防署 025-275-9111

中央消防署 025-288-3119

江南消防署 025-381-2327

秋葉消防署 0250-22-0175

南消防署 025-372-0119

西消防署 025-262-2119

西蒲消防署 0256-72-3309